ZENRAKUREN

MEMBER'S INFORMATION 全酪連会報

第45回
全国酪農青年女性酪農発表大会発表者決定!!

平成28年 熊本地震における本会の対応について

若手後継者の本音／生田目健吾さん

酪農トピックス／
「第47回西日本酪農青女酪農発表大会」開催される
西日本代表は、楠亮さん、川合宏子さん（大阪）ほか

栄えある春の叙勲褒章

酪農部だより／全酪連ギフト商品について

日本酪農見て歩紀（兵庫県姫路市夢前町 為金牧場）

6
2016 June No.609

全国酪農業協同組合連合会

平成28年

熊本地震における本会の対応について

4月14日、16日に熊本県を中心に発生した地震において被災された皆様に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

この地震が酪農業に与えた影響は甚大で、熊本県酪農業協同組合連合会（吉田孝壽代表理事会長　以下、県酪連）管内においては牛舎の全壊22戸、半壊37戸、一部半壊173戸の被害がありました。また、交通網の寸断等により、飼料供給、集送乳等にも大きな障害が出ました。

本会といたしましては、本所内に即日緊急対策本部を設置し、関係機関と連携しながら、熊本県をはじめとした九州各県の被害状況の把握を行い、出来得る限りの支援に取り組んでいるところでございます。

特に被害の大きかった熊本県については、本会職員を現地に派遣し、県酪連職員の皆様と共に管内酪農家を全戸訪問し確認を行いました。また、地震により大きな被害を受けた県酪連本所の業務復旧の支援にもあたりました。

飼料供給については、寸断された交通網の状況確認を行うと同時に、全酪飼料㈱九州支店や各地の運送会社と連携し、飼料配送体制を確保しました。また、施設被害により製造できなくなった熊本県内の混合飼料施設の代替製造を、本会中九州酪農センターで行うと共に、県酪連八代TMRセンターに対しては、原料確保の支援を行いました。

集送乳につきましては、熊本県内の四乳業工場が一時操業停止を余儀なくされたため、本会は九州生乳販売農業協同組合連合会（尾形文清代表理事会長）と連携し県内外の乳業工場への送乳手配を行うとともに、各社の協力を仰ぎ、不足する輸送用ローリーの派遣を行いました。

尚、今回の地震で被害を受けた酪農生産者の皆様への支援を実施するために、本会を含む酪農関連4団体で「災害対策酪農団体協議会」を設立し、次ページのと

熊本地震における本会の対応について

おり募金活動を開始致しました。皆様のご協力をお願い申し上げます。

地震発生から1か月近く経過し、交通網・ライフライン等も徐々に復旧してまいりましたが、完全復旧には程遠い状態にあり、被災された酪農家の皆様のご心労はいかばかりかとご推察申し上げます。

本会といたしましても、被災地の1日も早い復旧の為、支援活動を継続してまいります。

©2010 熊本県 くまもん 熊本支援

1．協議会名

「災害対策酪農団体協議会」

2．構成団体

全国酪農業協同組合連合会
日本酪農政治連盟
一般社団法人 全国酪農協会
一般社団法人 日本ホルスタイン登録協会

3．活動内容

（1）支援のための政策要求活動
（2）支援募金活動

金融機関　農林中央金庫　本店
口座番号　普通預金　７４７６０００
口座名義　災害対策酪農団体協議会
（略称）　サイガイタイサクキョウギカイ
募集期限　平成 28 年6月 30 日 ㈭

4．事務局

全酪連　指導・企画部
TEL:03-5931-8002　FAX:03-5931-8020

第45回

全国酪農青年女性酪農発表大会 発表者決定!!

全国酪農青年女性会議（半澤善幸委員長）と本会共催の「第45回全国酪農青年女性酪農発表大会」（7月14日（木）～15日（金）、愛知県名古屋市「名古屋 東急ホテル」で開催）の予選を兼ねた各地域会議の発表大会が3月から4月にかけて開催されました。酪農経営発表の部、酪農意見・体験発表の部の代表者が決定しましたので地域大会の審査講評などをもって、ご紹介に代えさせていただきます。（全国大会発表順）

尚、九州大会は先の熊本地方地震の影響で中止となり、後日審査会を開催し、発表者を選出いたします。

経営の部

東北酪農青年女性会議

宮城県 みやぎの酪農農業協同組合 青年部・婦人部

八巻 誠さん

仲間・家族・そして牛と
共に歩む酪農

牛群改良に熱心に取り組んでおり、乳量よりも体型を重視した後継牛は全頭自家育成に取り組み、ここ40年ほど導入はしていない。昨年は県の共進会で名誉賞を獲得。自給粗飼料主体で輸入乾牧草はほぼゼロ。震災後に代替粗飼料を一時期使用したが、改めて自給粗飼料の生産・活用の大切さを実感したという。また、母校の授業の一環で、在校生達を牧場に受け入れ指導にあたっている。

北海道酪農青年女性会議

北海道 小清水町

秋葉 直美さん

我が家の伝統とともに未来へ！
～継続は力なり～

酪農後継者として育ち、優良経営を守ってきたご両親から飼養管理や経営の基本を学んだ。繁殖管理の重要性を強く意識し、観察や繁殖検診を徹底してきた結果、分娩間隔402日、平均産次2・8産という成績を10年間維持している。平成24年からは小清水町TMRセンターの構成員となり、粗飼料収穫等の作業を外部委託省力化することでより丁寧な飼養管理を行い、現在は個体乳量11，600キロの高泌乳を実現している。

関東甲信越酪農青年女性会議

栃木県 栃木県酪農青年女性会議

駒場 靖史さん

父からの継承と更なる飛躍
を目指して

家族経営で酪農を営みたいという父・祖父の思いを受け継ぐことを決意し、大学卒業後北海道、そしてアメリカへと渡り研修を重ね、26歳で就農。「いかに牛たちにストレスを与えず、効率的な生乳生産をしてもらうか」という経営理念に基づき、カウコンフォートへの取組みをはじめ、乳質向上の取組み、牛群改良や繁殖管理の徹底等の取組みを実施。地域の酪農家と共同で効率的な自給飼料生産及び機械の共同利用体系を確立している。

西日本酪農青年女性会議

愛媛県　愛媛県酪農経営者協議会

楠 亮さん

4世代による酪農経営に向けて

平成22年父親から経営を移譲され、平成25年末、近隣の若い酪農仲間が事情によりやむなく離農することになり、築8年の新しいフリーバーン牛舎とパーラー施設を買い受けて移転。仲間の意志を継いで、26年、27年と着実に成績を向上していることが評価されるとともに、地域の酪農青年部や飼料生産組合などで、リーダーとして活躍していることも高く評価された。4歳の長男に夢を持たせる経営を実践中。

中部酪農青年女性会議

愛知県　愛知県酪農農業協同組合青年女性部

森 富士樹さん

この時間も牛たちは搾乳されています

１１０頭収容できるフリーストール牛舎で、56頭の搾乳ロボット牛群と54頭のパーラー搾乳での牛群2群管理をしている。自走式自動給餌機によるＴＭＲ給与やフィードステーションによる濃厚飼料の細分給与等により省力化・軽労化に取り組み、乳量・乳質とも東海地域の平均を大きく上回り、年間所得も非常に高い水準を維持している。

酪農経営発表の概要（発表順）

	発表者名（所属会議名）	題名	耕地面積(a)	経産牛飼養頭数(頭)	分娩間隔(ヶ月)	搾乳牛1頭当り年間乳量(kg)	乳脂率(%)	無脂固形分(%)	体細胞数(万/ml)	乳飼比(%)
1	八巻　誠さん（東北酪農青年女性会議：宮城県）	仲間・家族・そして牛と共に歩む酪農	3,162	49.6	14.5	10,057	3.84	8.67	11.9	41.1
2	秋葉　直美さん（北海道酪農青年女性会議：北海道）	我が家の伝統とともに未来へ！～継続は力なり～	320	94.3	13.6	15,326	4.10	8.89	16.8	43.5
3	未定（九州酪農青年女性会議：　）	未定								
4	駒場　靖史さん（関東甲信越酪農青年女性会議：栃木県）	父からの継承と更なる飛躍を目指して	950	76.2	13.8	11,309	3.99	8.86	10.2	61.0
5	楠　亮さん（西日本酪農青年女性会議：愛媛県）	４世代による酪農経営に向けて	400	41.3	14.6	10,243	3.81	8.79	14.2	55.5
6	森　富士樹さん（中部酪農青年女性会議：愛知県）	この時間も牛たちは搾乳されています	390	121.0	13.3	11,556	3.88	8.95	17.0	44.3

中部酪農青年女性会議

愛知県 愛知県酪農農業協同組合青年女性部

石川 栄子さん

私を支えてくれた家族 ～ここに、おればいいがや～

結婚して3年目に夫を亡くし人生の岐路に立った時、義父のある言葉により家に留まり酪農を続けていくと決心、そして四半世紀が過ぎた。会場からは「ご両親との家族のきずながすばらしい」「嫁ぎ先に留まり酪農を続けようと決心したことに敬意を抱いた」「色んなことを乗り越えて今があることに言葉の重みを感じた」「石川さんの人生、私には出来ません」などの声が寄せられ、ぜひ全国に紹介したい一話である。

東北酪農青年女性会議

宮城県 宮酪青年婦人連絡協議会

菅原 真由美さん

地域に理解される酪農家を目指して

病院で技士（ME）として働いていたが、友人の紹介でご主人と出会い結婚。家業や子育てに追われる日々だが、都会の子ども達を受け入れる『わらすこ山学校』や、生涯学習施設での酪農体験の開催など活発に活動し、地域に酪農の魅力を発信している。多くの消費者に酪農の現状を話す機会が増えたことに喜びを感じ『すべては家族の理解と協力があってこそ』と感謝。

北海道酪農青年女性会議

北海道 弟子屈町

芳賀 ひとみさん

ひとみ25歳で経営主になる

酪農家を目指し勉強を進めるうちに、配合飼料全頭1日2kg、個体乳量5，900kgという実家の管理が他と大きく違うことに気付く。就農後に所属した4Hクラブでの検証プロジェクトにより、実家では経費をかけずに所得率の高い「TNR（低燃費酪農）」を実現していることが分かり、それを目指すことに決めた。25歳で経営主となった今、一人の経営者として見られるよう、小さな目標をひとつひとつ達成しながら日々前進している。

関東甲信越酪農青年女性会議

長野県 長野県酪農青年女性会議

高嶋 和磨さん

都会を離れ酪農の道へ ～東京から長野へ～

野球に青春を捧げ、甲子園に出場し活躍。その後野球漬けの毎日から解放され、自由人となった本人は20歳の頃に奥様との運命的な出会いを果たす。奥様の実家が酪農家であることを知り、徐々に酪農に興味を持ったことをきっかけに交際に発展、そして結婚。いよいよ酪農生活をスタートさせたが…。就農して8年、まさにゼロからのスタートで苦労を重ねながらも酪農家として成長した等身大の姿が感じられる発表となっている。

西日本酪農青年女性会議

岡山県　おかやま酪農業協同組合　女性部

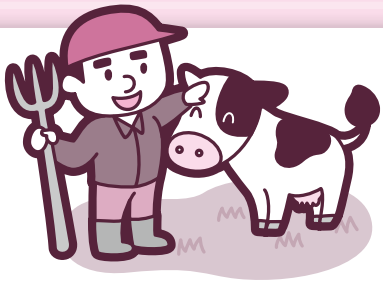
川合 宏子さん

平坦なれ我が人生

自家製ジャージー牛乳100%のチーズ工房を通じて、業種を越えての様々な人とのつながりと影響力、そして酪農への理解発信が高く評価された。これまでの苦労や困難があったであろうと推察される中で、これからは濃厚でコクのある平坦な人生を歩まれるであろうと期待される。

意見・体験発表の概要（発表順）

	発表者名（所属会議名）	題名
1	石川　栄子さん（中部酪農青年女性会議：愛知県）	私を支えてくれた家族　～ここに、おればいいがや～
2	菅原　真由美さん（東北酪農青年女性会議：宮城県）	地域に理解される酪農家を目指して
3	芳賀　ひとみさん（北海道酪農青年女性会議：北海道）	ひとみ25歳で経営主になる
4	高嶋　和磨さん（関東甲信越酪農青年女性会議：長野県）	都会を離れ酪農の道へ　～東京から長野へ～
5	未定（九州酪農青年女性会議：　）	未定
6	川合　宏子さん（西日本酪農青年女性会議：岡山県）	平坦なれ我が人生



若手後継者の本音 Vol.20
ホンネ

「地域に貢献できる牧場を目指して」

▲生田目健吾さん

今回は、**北海道枝幸郡浜頓別町 太陽ふぁーむ**の後継者**生田目健吾**さんにお話を伺いました。

[経営概況]

所　　属　東宗谷農業協同組合（佐藤裕司代表理事組合長）
家族構成　父、母、兄弟４人
飼養頭数　経産牛580頭、育成牛490頭

今回ご紹介する太陽ふぁーむ有限会社（生田目政吉代表取締役）は、北海道北東部の枝幸郡浜頓別町に位置しています。浜頓別町は日本最北のラムサール条約指定地「クッチャロ湖」や砂金採掘ができる「ウソタンナイ砂金公園」などがある自然豊かな地域です。

太陽ふぁーむが所属する東宗谷農業協同組合（佐藤裕司代表理事組合長）は酪農家戸数108戸、年間生乳生産量は77,693t（平成27年度）です。太陽ふぁーむは平成18年に生田目牧場を始めとする酪農家4戸が設立した牧場で、TMRセンター有限会社みどりの開明（只野義憲代表）に参加しています。太陽ふぁーむでは「乳牛部」、「TMR調整部」、「総務・経理部」が設けられています。乳牛部にはさらに搾乳部門、疾病対策部門、機械部門、哺育管理部門と細分化されています。今回は太陽ふぁーむの取締役である生田目健吾さんにお話を伺いました。

▲牧場全景

就農の経緯について教えてください。

幼い頃から私たち兄弟の遊び場が牛舎でした。自分より大きかった子牛と格闘したこと、バーンクリーナーに流されそうになったことなどたくさんの懐かしい思い出があります。仕事の手伝いなども当たり前のようにしていたため、きっかけというものはなく、自然と酪農家になるのだと思っていました。学生時代（酪農学園大学）には、引っ越しやパン屋など酪農とはかけ離れたアルバイトを多く経験しました。それでもやっぱりサラリーマンより酪農が良いと思い今に至っています。

現状について教えてください。

カーフトップZEROを使った〝強化〟哺育に取り組んでいます。以前は全乳をパスチャライズしたものを給与していましたが、増体面や販売価格面などでメリットを感じています。私が学生時代には牧場の哺育管理面が大きな課題だったので、大学で学びながら牧場で活かせることはないかとずっと考えて

いました。牛の市場価格も高騰している中で、基盤強化という意味でも必要な取り組みだと考えています。

現在の課題はありますか？

改善したいと考えている課題としては、乳房炎と乾乳管理です。乳房炎に関しては、古い牛床マットを新しい物へ変えたり、搾乳前に乳頭洗浄をしっかり行うことで改善を図っています。乾乳管理も低カルや四変が発生しているので、飼料メニューなどを見直している最中です。

大型牧場でのコミュニケーションはどのようにしていますか？

毎朝ミーティングを行い、1日の予定や反省点などを話し合っています。コミュニケーションだけでなく、意思統一の場として非常に重要だと考えています。自分は社長たち経営陣と若手従業員のパイプ役としても働かなくてはいけません。そのため私は色々な面で人の倍は働く必要があると考えています。

今後の目標を教えてください。

現在、初産牛群が全体の3分の1を占めています。お産のトラブルを減らし、平均乳量をさらに上げることが目標です。質の良い自給粗飼料の給与や効果的に添加剤を使うことで牛群の健康管理をしつつ、牧場の利益へとつなげたいです。

地域に貢献するという意味でも私達の牧場だけでなく、周りの酪農家さんの手助けができるような存在になりたいと思います。

▲明るい牛舎内部

▲育成牛の管理

▲哺育牛舎

生田目さんより 全国の若手後継者の皆さんへ一言！

NO COW NO LIFE!

仙台支所発

「有効な出会いのために」婚活セミナー開催（岩手中央酪農協）

去る４月20日㈬、岩手中央酪農業協同組合（佐々木勲代表理事組合長）と岩中酪青年婦人会議（山中博喜委員長）の共催により、NPO法人全国地域結婚支援センター代表の板本洋子氏を講師に迎えた『有効な出会いのために』と題した婚活研修会が開催されました。

▲ 板本洋子氏

参加者は、独身の当事者はもちろん、親御さんらも多く集まり、総勢24名の参加を見ました。

板本氏は、「年齢が上がれば条件は厳しくなるが、本人の理想は高くなる。相手があってこそ。自分を認めなければ。」と厳しい発言。「自分で出会いの場所を探せない、時間を作れないという人は、尚更イベントや紹介所などを利用すべき。」とアドバイス。さらに「友人、知人の紹介を期待する人もいるが、それなりの人脈があってこそ」とごもっともなご意見。

一方、「街コンも、同じメンバーで二度、三度開けば、単発のそれよりカップル成立の可能性は抜群に高くなる。」と、婚活を仕掛ける側へもアドバイス。

「誰かと繋がって生きることはとても大切。願望は常に持ち続けてください。」と締めくくりました。　（I.M）

仙台支所発

自民党本部にて要請活動 日本酪政連東北ブロック協議会

去る５月17日㈫、日本酪農政治連盟東北ブロック協議会（佐々木勲会長）は、自民党東北酪政会（鈴木俊一会長（衆議院議員／岩手２区））に対し、政府の規制改革会議から提言された指定生乳生産者団体制度廃止に対して反対を求める要請活動を行いました。自民党本部にて午前８時から開催された自民党東北酪政会総会に参加し、指定団体制度廃止の提言に関する協議の中で、意見を述べました。

▲ 自民党東北酪政会 鈴木会長

佐々木会長は、「指定団体制度廃止は絶対反対の立場。需給調整機能を失い、酪農産業の存続が危ぶまれる。」と熱く語られました。また、参加した酪政連東北Ｂ協議会会員からは「将来にわたって若い世代に希望が持てる酪農を続けていくためにも、制度を維持してほしい。」「震災後５年を経て復興牧場も立ち上がり、目指す方向に歩み始めた。酪農は、農村地域が持続継続できるための重要な産業でもあることを理解いただいていると考える。」と口々に制度廃止に反対意見が出されました。

自民党東北酪政会は、制度廃止に反対する決議を採択し、総会は終了しました。　（I.M）

▲ 総会で要請する酪政連会員

東京支所発

「青木農業祭2016」開催される

青木農業祭実行委員会が主催する「青木農業祭」が、４月16日㈯に青木サッカー場（栃木県那須塩原市）にて開催され、同会場にて開催された「第42回青木ホルスタイン共進会」には53頭の出品があり、ジャッジングコンテストが行われました。

今年も多くの飲食物ブースの出店があり、ブースをまわるスタンプラリー、長靴飛ばし大会、子牛とのふれあい体験コーナーなど一般消費者の方が楽しめる多くのイベントが催され、用意された駐車場に入りきれないほどの多くのご家族連れの来場がありました。体験型コーナーでは主に青年部の方がブース管理を担当され、一般消費者との交流が見られました。

東京支所では、那須青木ＴＭＲセンター製品の紹介を兼ねた出展を行い、今回は出展ブースが共進会場前であったこともあり、一般消費者の方から“牛は何を食べるのでしょうか？”、“これらの飼料であんなに大きく牛が育つのねぇ”といった新鮮な声を聞くことができました。

天候が危ぶまれた今年の青木農業祭でしたが、終日好天に恵まれ、賑やかな１日となりました。

（N.T）

第42回青木ホルスタイン共進会の主な結果は下記の通りです。各賞受賞の皆様、おめでとうございました。

●経産牛名誉賞の部：和田　泰氏
（リージェント　サンチエス　ケリー号）

●未経産牛名誉賞の部：大関悠太氏
（ビツクバリア　マツカチエン　リリスET号）

◀ 東京支所出展ブース：
那須青木ＴＭＲ製品の紹介を中心に行いました

▶ 搾乳体験コーナー：
子供たちの声は『今年は上手に搾乳するぞ！』

◀ 第42回青木ホルスタイン共進会審査光景

大阪支所発

「第47回西日本酪青女酪農発表大会」開催される 西日本代表は、楠亮さん、川合宏子さん

去る４月21日㈭、愛媛県松山市の「道後プリンスホテル」において、西日本酪農青年女性会議（林浩太郎委員長）主催の第47回酪農発表大会が開催されました。大会には近畿中国四国の各地から酪友・関係者157名が参加しました。

▲ 林委員長

林浩太郎委員長の開会挨拶に続いて、農林水産省中国四国農政局生産部畜産課平山雅通課長、愛媛県農林水産部農業振興局畜産課 二宮幸誠課長、愛媛県酪農業協同組合連合会 和氣茂太代表理事会長が祝辞を述べられました。

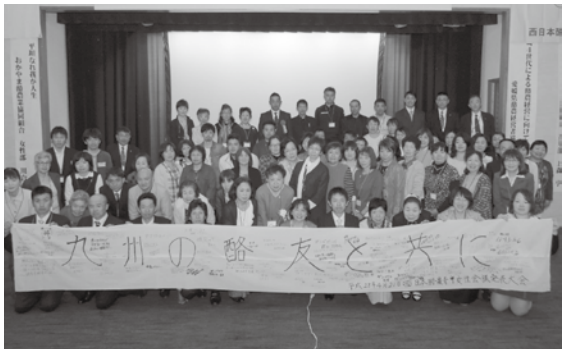
経営の部は、「一歩ずつ」と題して、おかやま酪農業協同組合青年部の上森亨さん、「４世代による酪農経営に向けて」と題して、愛媛県酪農経営者協議会の楠亮さんの２名の方が発表されました。上森さんは若い方ですが、高梁市の中山間地で地域の耕作放棄地を借り受けて改修し、自給飼料生産を増やしていることなどを発表されました。楠さんは、西予市野村町で酪農三代目の経営者ですが、近所で離農せざるを得なかった仲間の意志を継ぎ、仲間の新しい牛舎を買い受けて移転し２年、着実に成績を伸ばしたことなどを発表されました。お二人とも優秀な発表でしたが、地域での青年部会、飼料生産組合、コントラクターなどへの取組み等が評価されて、楠亮さんが西日本代表に選ばれました。

意見・体験発表の部では、「平坦なれ我が人生」と題して、おかやま酪農業協同組合女性部の川合宏子さん、「自分にできることをやっていく～牛・地域・家族とともに歩む酪農～」と題して、山口県酪農青年女性会議の榎本耕大さんの２名の方が発表されました。川合さんは、真庭市の蒜山高原でジャージー牛を飼養し、自家産ジャージー牛乳100%のチーズ工房を立ち上げたことなどを発表されました。榎本さんは若い方ですが、錦町で高校時代のスキー馬鹿から酪農馬鹿を目指していろいろ取り組んでいることを発表されました。審査は、お二人の年代も違い困難を極めたようですが、業種を越えての様々な人への繋がり・影響力・酪農理解発信が特に評価されて、西日本代表に川合宏子さんが選ばれました。

◀ 発表者４名

九州では熊本県を中心に大型地震が発生し、酪農や乳業工場にも甚大な被害がでました。同じ日に予定されていた九州酪農発表大会は中止となりましたが、九州に何か激励のメッセージを送りたいと腐心されていた林浩太郎委員長は、発表大会前の役員打合せで横断幕への寄書を提案され、一同が賛同して急遽大会受付で寄書を行うことになりました。「九州の酪友と共に」一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

（I.Y）



▲ 激励の横断幕と大会参加者

日本酪農

見て歩紀

▲ 和徳さん習さんご夫妻

No.277

為金牧場（ためがね）

兵庫県姫路市夢前町

ロボット搾乳による良質乳生産

地域の紹介

今回紹介する為金（ためがね）牧場は、兵庫県の南西部姫路市にあります。姫路市には、世界文化遺産・国宝として有名な「姫路城」があることは周知のことと思いますが、昨年「平成の大修理」を終えて、多くの観光客が訪れています。為金牧場は姫路市でも中北部の夢前（ゆめさき）町にあり、平成18年3月に合併して姫路市となりました。北部には修験道の地として、またロッククライミングの山としても有名な「雪彦山（せっぴこさん）」があり、登山愛好家に親しまれています。

▲ 牛舎遠景

姫路市の酪農家戸数は現在1戸。広い姫路市ですが、今年の2月から為金牧場だけになったそうです。為金牧場が所属する兵庫県酪農農業協同組合（丸尾建城代表理事組合長）は、県下一円の酪農専門農協として本年4月1日に設立されました。平成27年度の出荷乳量は兵庫県酪連として84，533t、新酪農協設立時4月1日現在の組合員戸数286戸となっています。

経営の概況

為金牧場のご家族の構成は、ご主人の和徳さん（39）、奥さんの習（ならう）さん（39）、長男の稜人さん（高3）、次男の秀人さん（中3）と、お父さん、お母さん、愛犬ジョー君（4）となっています。和徳さんご夫婦は、兵庫県立農業大学校時代の同級生とのことです。和徳さんの曾祖父、祖父は家畜商だったそうで、

▲ 牛乳処理室と飼料タンク

酪農を本格的に始められたのは、ご両親が昭和45年に30頭牛舎を建ててからとのことです。

労働の分担は、新牛舎の搾乳関係、自給飼料生産、堆肥管理などは和徳さんご夫婦が、旧牛舎の哺育・育成関係はご両親が担当されています。現在の飼養頭数は、経産牛77頭、未経産牛20頭、育成牛12頭、他に北海道預託が10頭いるそうです。自給飼料は、牛舎から半径5㎞以内で、近隣の農家から預かった水田約20haに二期作でイタリアンとスーダンを作付し、ロールパックにして保管・給与されています。地域では高齢化などで、水田に作付してほしいと要望されることが殆どで、面積は自然に増えたそうです。平成27年度の出荷乳量は703tでした。

就農当時からの状況

和徳さんは、平成9年3月農業大学校を卒業と同時に就農されました。旧飾磨郡夢前町は、かつては養鶏が盛んでしたが、様々な問題から、当時は民家の周辺200m以内には畜舎を建ててはならないという条例があったそうです。酪農を手伝いながらも、敷地内には新牛舎は建てられないと思案されたようです。スーパーL資金など資金の目途がつけば、堆肥舎など周辺の施設を牛舎よりは先に整備したと、和徳さんは語っておられました。

ちなみに、学校時代に堆肥調整は勉強したので、就農してからも水分調整などを行って、良い堆肥を作るように努めたと言っておられましたが、しっかりした良い堆肥のようにお見受けしました。

新牛舎の建設

平成18年3月夢前町が姫路市と合併し、その後条例が継続されているか確認したところ、継続されていないことが判明しました。いろいろ牧場を視察したり話を聞いたりして、新牛舎建設に向けて検討をしたそうです。検討に検討を重ねて出した結論は、夫婦二人で最大限の管理ができる「フリーストールと搾乳ロボット牛舎」。ストール数64、乾乳・分娩房付きで搾乳ロボット併設でした。

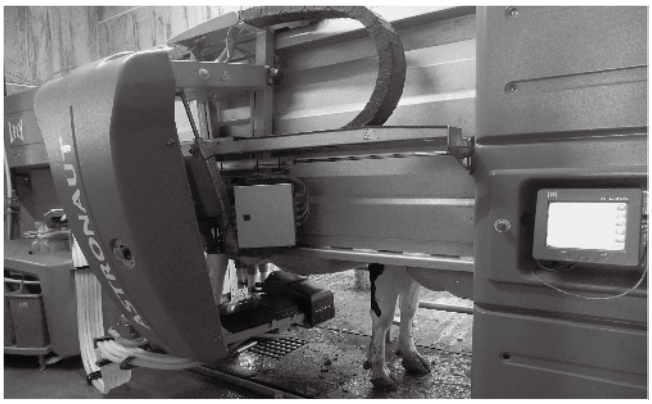
▲ フリーストール牛舎

新牛舎は平成23年3月8日に稼働開始し、旧牛舎から搾乳牛を移動して、和徳さんと習さんの二人の酪農が本格的に始まりました。最初は牛がロボットに入らず、和徳さんは牛舎に張り付きとなり、稼働開始から3日後に発生した東日本大震災の詳しい情報を一週間も知らなかったそ

うです。ロボット業者の方にも手伝ってもらいましたが、居なくなった途端どうなることかと、習さんは思ったそうです。

ロボット搾乳による良質乳生産

毎日毎晩、自分たちの目で牛を観察し、パソコンのデータをチェック、とにかく牛の動線を止めないこと。そして、乳房炎など異常のある牛や発情の牛などを早期に発見すること、ストールのベッドメイキングを怠らないこと等々、きめ細かな管理をされています。「ロボット搾乳は楽でしょうね」とよく言われるそうです。確かに搾乳はしなくてよくなりましたが、牛舎を長時間離れることはできないと言っておられます。その分、牛の観察が大事で、事故や問題がないか、早期発見・早期対応に重きを置いているためです。日頃のそのようなご努力もあり、平成27年度兵庫県良質生乳生産コンクールでは最優秀賞を受賞されました。この審査基準には、乳質だけでなく個体乳量の高さも含まれています。また近畿生乳販連が実施するHigh Quality Milk Award 2015では第2位、優秀賞を受賞されました。



▲ 搾乳ロボット

▲ 優秀賞を受賞

飼養管理

為金牧場では、TMRミキサーを導入し、自給飼料のサイレージ、購入乾草のアルファルファとスーダン、ビートパルプ、全酪連の乳配飼料、添加剤を混合して給与しています。この他にロボットで乳配飼料を、7kgを上限として給与しています。牛は、搾乳のためにロボットには1日2~4回入るそうです。また、フリーストール牛舎には、スクレッパーが設置されていますが、スクレッパーにもマットが敷いてあり、牛にやさしい構造となっています。

▲ 堆肥舎

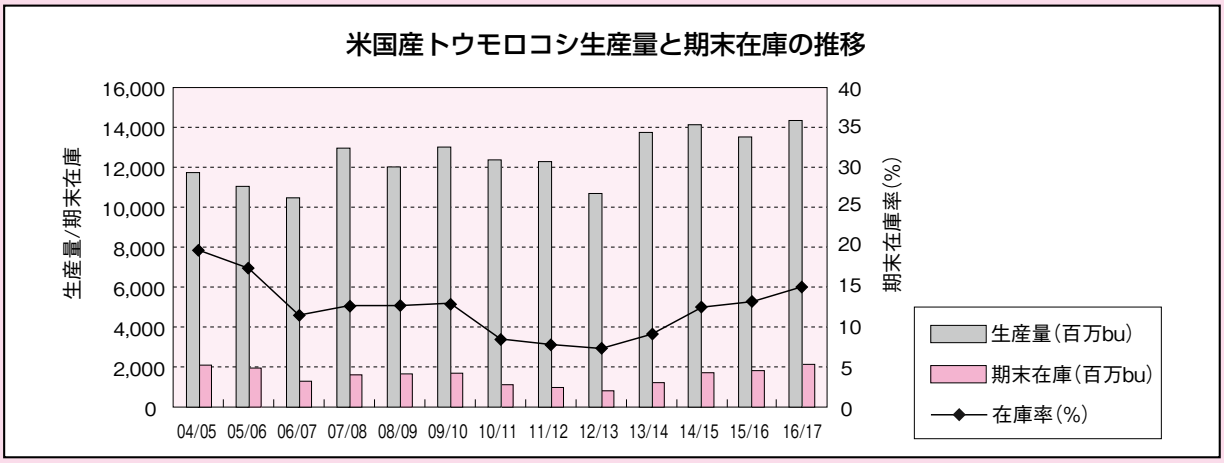
終わりに

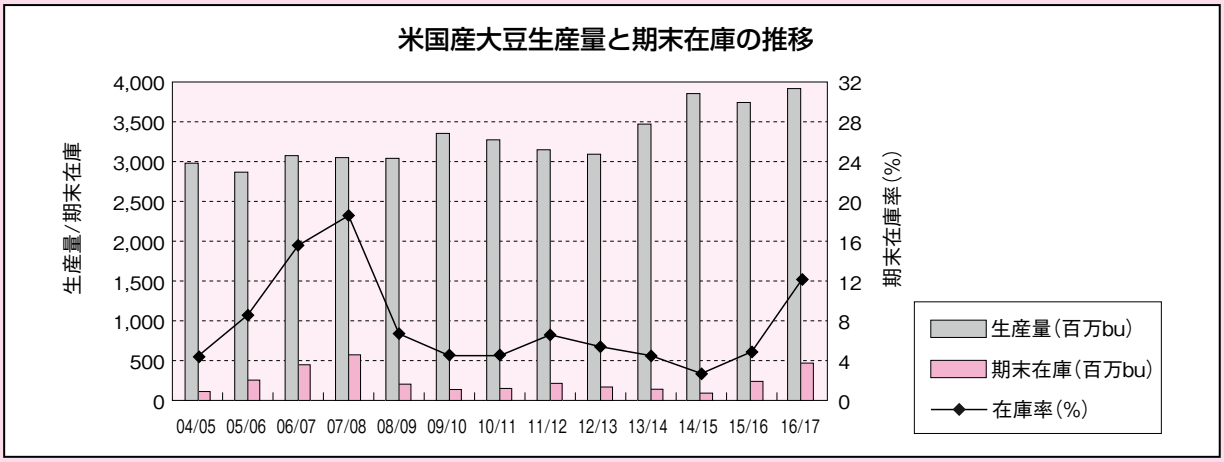
今後の目標を伺うと、年間を通して70頭を搾乳したい、少なくとも60頭は切らないことと控えめに言っておられました。TPPなどの心配事については、乳業メーカーはとにかく安定的に生乳を買ってほしいと希望され、我々生産者は安定的な生産を目指すからと、さほど意識されていない様子でした。

淡々と語っておられましたが、若くして就農以来タイミングを捉えて確実にステップアップをされていること、今自分たちにできることを実現されていること、家族経営の見本ともなる経営であり、深く感銘する次第です。ご多忙のところ、取材にご協力をいただき感謝申し上げます。為金牧場のますますのご発展とご家族の皆様のご健勝をお祈りいたします。

原料情勢 平成28年5月

5月10日発表 米国農務省 トウモロコシ 需給予想	【15/16年産】 作付面積88.0百万エーカー、単収168.4bu/エーカー、生産量136億100万bu、総需要量135億8,500万bu、期末在庫18億300万bu、在庫率13.3% 需要面で増加し、期末在庫は減少した。
	【16/17年産】 作付面積93.6百万エーカー、単収168.0bu/エーカー、生産量144億3,000万bu 、総需要量141億2,000万bu、期末在庫21億5,300万bu、在庫率15.2% 需給両面で増加し、期末在庫は増加した。
トウモロコシ 相場動向	先月の発表以降、ブラジル産地では少雨により2期作目のトウモロコシ生産量減少の見方が広がった。これを受けシカゴ相場は急騰し6ヶ月ぶりの高値を付けた。その後、米国産地での作付進捗状況が順調なこと、米ドル高の進行、商品市場全体が下落したことを受けて急騰前の水準まで値を下げた。今後のシカゴ相場は、今のところ米国では生育に問題ないが、ブラジルでは引続き乾燥した気候が続き更なる悪化も懸念されている。今回の発表で米国では16/17年産も豊作になると予想しているが、米国でも悪化した場合、更なる上昇要因になると見られる。今後は天候に大きく左右される動きになる見通し。
5月10日発表 米国農務省 大豆需給予想	【16/17年産】 作付面積82.2百万エーカー、単収46.7bu/エーカー、生産量38億万bu 、総需要量39億2,500万bu、期末在庫3億500万bu、在庫率7.8.0% 需要面で減少し、供給面で増加した。
大豆粕相場動向	国内産大豆粕については、食用油の需要も低調で大きく変わらず、発生量も横ばいで推移している。輸入品の中心となっている中国品は、直近での入船が少ないことから国内の受渡は逼迫している。シカゴ相場の上昇に加え、中国内の需要が回復基調にあることから、価格は強含みで推移している。今後のシカゴ相場は、大豆はアルゼンチンの豪雨に加え、原油価格が高騰していることを受けて投機筋を中心に買われ、相場は大きく強含む展開となった。この大豆相場の上昇を受け、生産者が一部大豆への作付シフトする可能性もある。
糟糠類	【一般フスマ】6月の粉価改定（小麦粉）における値下げ見込みによる買い控えから、発生量は前年対比若干減で推移している。グルテンフィードが大幅に値を下げたのに対し、小幅な値下げとなったが、使用の中心である牛用飼料での置換は限定的であるため、需給は堅調に推移するものと思われる。
	【グルテンフィード】国内では今期大幅値下げを受け、鶏・豚用飼料で大幅に使用量が増加している。気候も温かくなり発生量は増加傾向にあるが、前述の使用量増加、輸入が控えられていることから期先の余剰感はない見込み。輸入品の中心となっている中国では大豆粕等の価格が上昇している影響を受け、相場は強含んでいる。
海上運賃	前月と比較し、南米東岸積み穀物の引き合いがあったが、一部ブラジルでの滞船も解消され軟調に推移した。ただし、安定的な引き合いが下支えとなっており、高止まりで推移している。原油相場も堅調に推移していることから海上運賃も同様に推移するものと思われる。





輸入粗飼料の情勢　平成28年5月

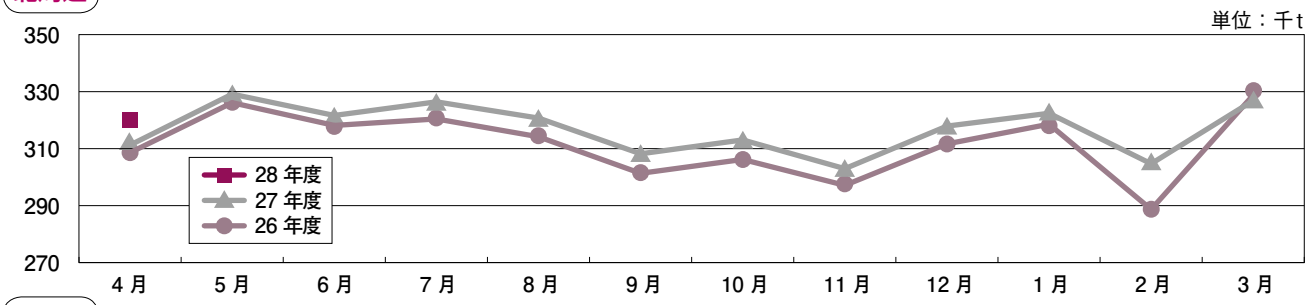
北米コンテナ船フレート	海上運賃修復（GRI）について、5月1日へ再延期の通知を出した殆どの船社が値上げの回避を決定した。海上運賃は相変わらず過去最低レベルで推移しており、背景には船の大型化による船腹の余剰感がある。一方で、船の大型化にターミナルの能力が十分追いついておらず、受け入れ日数を制限するなどの対応でスケジュール通り運行させようとしている。そのため、各サプライヤーは通常よりも限られた日数の中で港までの出荷作業を行うことを強いられており、オーダーの遅延やコストの増加が表面化してきている。
ビートパルプ	新穀の作付けが全米でスタートしている。大部分は温暖な天候で推移しているが、ミネソタ州及びノースダコタ州の北部で天候不順なため、一部で進捗の遅れが見られる。しかし、年々単収及び天候への対応などの種子の改良が進んでおり、現時点では多少の作付の遅れは大きな問題でないと言える。作付面積は前年比微減と予想されているが、品種改良等による収量増加が期待できる。今後の天候次第ではあるが、新穀の生産量は例年並みの単収が得られると仮定すると、昨年比5%前後減少する見込みとなっている。
アルファルファ	4月中旬にカリフォルニア州の広範囲で降雨があり、刈取直後であった北部の一部地域では雨あたりや収穫のスケジュール遅れが発生しており、1番刈序盤での超高級品の数量は限られている。南部では2番刈の最中であったものの降雨による大きな被害はなく、総じて良好な作柄で進捗しているが、高成分の上級品と雨あたりをはじめとする低級品との価格差が大きくなっている。ワシントン州の新穀の作付面積は昨年同程度か微増と見込まれていたが、価格が弱含みなため1番刈収穫後にコーン等の野菜の生産に切り替えを考えている農家も多く、16年産全体の生産量は減る可能性がある。産地相場は、一部の生産農家・サプライヤーに旧穀の中級・低級品の在庫を抱えているところもあるため、これらのものについては弱含みとなっている。
チモシー	【米国産】15年産は雨風による倒伏等の影響で大量の中級品が生産され、未だ在庫が例年以上にあると言われている。このため更なる値下げを試みるサプライヤーがおり、この動きはチモシー生産農家にも影響を与え始め、値下がりの状況をみて生産意欲が減退し1番刈後はコーンや豆類などの野菜に転作するケースが増えることで、全来の生産量は昨年を下回る可能性が強くなってきている。16年産の生産量は減る可能性があるものの、15年産の在庫もあることから中級品以下の供給量は問題ないと見られており、上級品と中級品の価格差が広がる可能性がある。
	【カナダ産】16年産作付は、南部レスブリッジで微増、中部クレモナでは横這いと予想されている。菜種をはじめとする他作物の価格は低迷したままではあるが、チモシーについては大きな変動がないことから生産農家にとっては他作物に比べ魅力があり、作付面積は維持されると予想されている。近年、数量は限定的ではあるが、カナダから中国向けにチモシーの出荷が始まっている（緑目が強く柔らかい品質が好まれている－主に2番刈を出荷）。カナダチモシー主産地の生産量のうち6割以上が日本向けとなっているため、中国への輸出が本格化し始めると、他の草種と同様に日本を上回る需要になる可能性も秘めており、中国向けの輸出量は注視していく必要がある。
スーダングラス	5月1日付けインペリアルバレーの作付面積は、前年同月より5,000エーカー以上多い31,326エーカーとなっている。一方、相場が低調に推移している小麦は29,000エーカー近く減少し、その作付け分はスーダン、アルファルファや種子の相場が好調なバミューダへ置き換わった模様。新穀のスーダングラスは昨年に比べ早播きが増加しており、旧穀で発生が少なかった上級品の供給が増える可能性が高まってきている。
クレイングラス	**クレイングラスは全酪連の登録商標です。**インペリアルバレーのクレイングラスの作付面積は、4月15日時点で15,255エーカー、前年同月比95%。今のところ生育は順調で、5月に入り1番刈の最盛期を迎えている。他作物の価格が弱含んでいることから、クレイングラスについても新穀価格の下げが期待されるが、急激な産地価格の下落は農家の生産意欲を減退させる恐れもあるため、産地価格の動向と今夏以降の作付面積には十分注視すべき点と言える。
ストロー類	米国農務省から16年産のライグラスとフェスクの作付面積予想が発表され、アニュアル種は4%減少、ペレニアル種は横這い、フェスクは微減となっている。15年産は干ばつ傾向が続いたため単収は平均以下だったが作柄は良いものだった。主産地オレゴン州では昨年同時期に比べ干ばつの影響が弱くなっていることから、16年産は単収改善の期待が高まっている。日本及び韓国の需要が堅調なことから、産地価格は強含みの気配が強まっている。
オーツヘイ	現地時間4月6日にフリーマントル港（西豪州）でストライキが実施されたが、1ターミナルでの実施、かつ72時間の時限ストライキ予定であったことから、各船社は他ターミナルへの振替寄港などにより影響を最小限に抑えた。西豪州での動きが飛び火する形で翌13日にシドニー港でのストライキも発生したが、大きな問題の発生は見受けられなかった。日本向け以外でも旺盛な輸出需要が継続しているうえ、堅調な国内需要を背景に今後も産地相場が強含みで推移すると予想され、随所に値上げの打診が出てきている。特に15年産で発生が少なかった中級品以下については供給量が限られていることに加え、今後追加買付が難しいことから端境期に向けてこれらのグレードの供給量はやや不安がある状況と言える。

生乳受託販売乳量

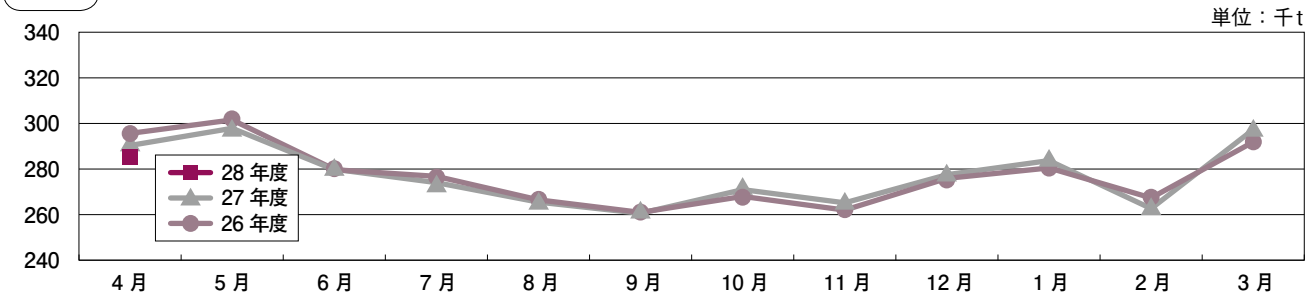
受託販売乳量

全国　606,498t で、前年同月比　4,896t(0.8%) 増加
都府県 286,545t で、前年同月比 3,802t(1.3%) 減少
北海道 319,953t で、前年同月比 8,698t(2.8%) 増加

北海道

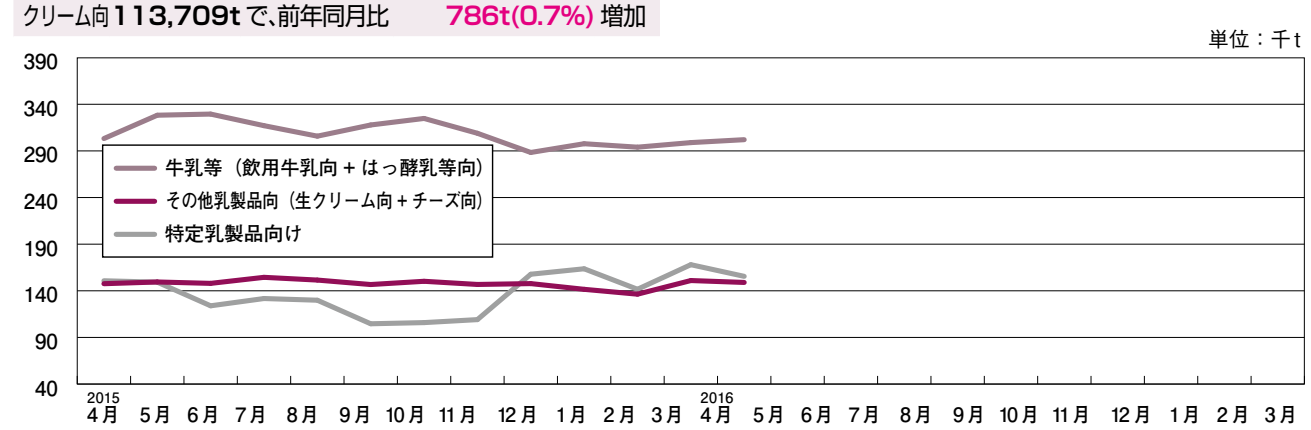


都府県



用途別販売数量

飲用向　263,826t で、前年同月比　1,312t(0.5%) 減少
チーズ向　35,245t で、前年同月比　557t(1.6%) 増加
はっ酵乳向　38,210t で、前年同月比　114t(0.3%) 増加
特定乳製品向 155,506t で、前年同月比 4,752t(3.2%) 増加
クリーム向 113,709t で、前年同月比　786t(0.7%) 増加



各地の需給動向

【東北】生産は前年比 99.8%。全体的に飲用需要は不調に推移。飲用牛乳向け 99.7%、はっ酵乳等向け 102.8%、特定乳製品向け 103.3%。

【関東】生産は前年比 99.9%。販売は前半重めに推移した感度であるが、後半動きが出てきている。飲用牛乳向け 100.3%、はっ酵乳等向け 100.2、特定乳製品向け 97.8%。

【東海】生産は前年比 98.8%。生産における減少の流れは変わらず。処理は熊本地震の影響で幾分増えている様子。飲用牛乳向け 97.1%、はっ酵乳等向け 115.0%、特定乳製品向け 85.6%。

【近畿、中国、四国】生産量は昨年の種付が順調であったこと等から好調に推移。近畿 97.7%、中国 101.7%、四国 99.1%。処理は熊本地震の影響で製造応援で増加。飲用牛乳向けは近畿 97.4%、中国 104.4%、四国 107.6%。

【九州】生産は震災の影響で廃棄もあり、前年比 96.0%。処理は地震により熊本県内の市乳工場が停止したため、加工乳量が上昇した。飲用牛乳向け 94.4%、はっ酵乳等向け 94.5%、特定乳製品向け 106.9%となった。

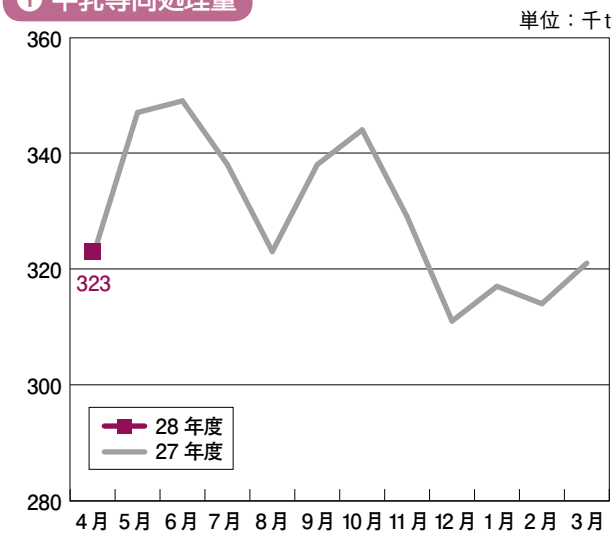
用途別生乳処理量

単位：千t

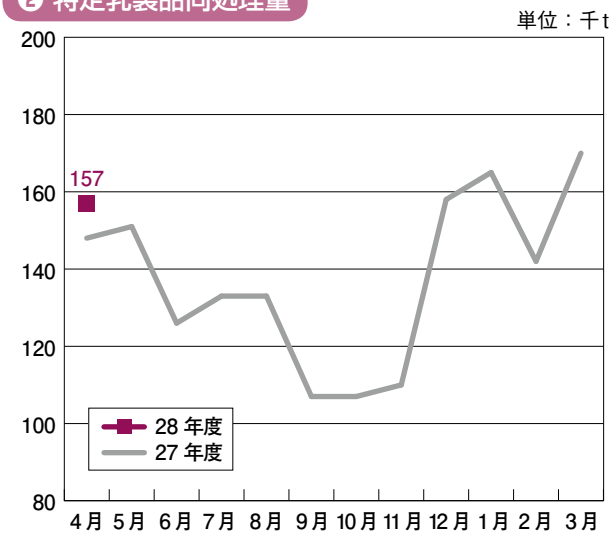
年月	生乳生産量	用途別処理量計	乳製品向		その他乳製品向				年月	生乳生産量	用途別処理量計	乳製品向		その他乳製品向				
			牛乳等向①		特定乳製品向②		クリーム向③	チーズ向④				牛乳等向①		特定乳製品向②		クリーム向③	チーズ向④
2015. 4月	625	620	322	298	148	150	114	37	2016. 4月	633	626	323	303	157	145	108	37
5月	649	644	347	297	151	146	109	37	5月								
6月	625	620	349	271	126	145	107	38	6月								
7月	629	624	338	286	133	153	110	43	7月								
8月	608	604	323	281	133	148	107	41	8月								
9月	593	588	338	250	107	143	107	36	9月								
10月	603	599	344	255	107	148	111	37	10月								
11月	588	584	329	255	110	146	110	36	11月								
12月	620	616	311	304	158	147	109	37	12月								
2016. 1月	627	623	317	305	165	140	101	39	2017. 1月								
2月	595	591	314	277	142	135	100	35	2月								
3月	644	639	321	318	170	148	109	39	3月								
年度計	7,407	7,352	3,953	3,398	1,649	1,749	1,295	455	年度計	633	626	323	303	157	145	108	37

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」
単位：千t未満を四捨五入した数値を標記しているため、各項目の合計と表の合計とが合致しない場合がある

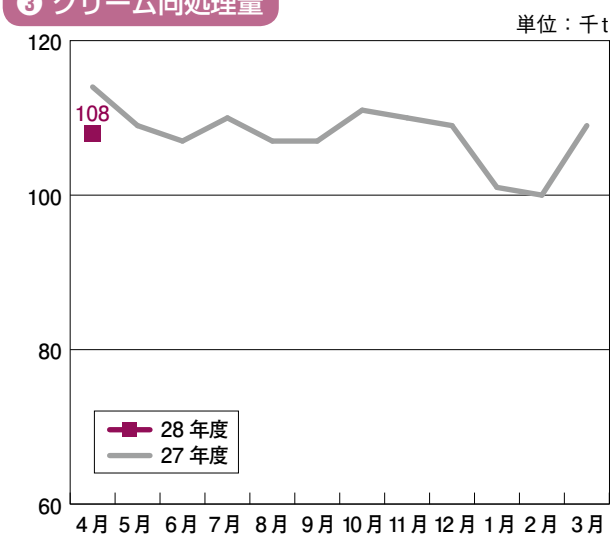
❶ 牛乳等向処理量



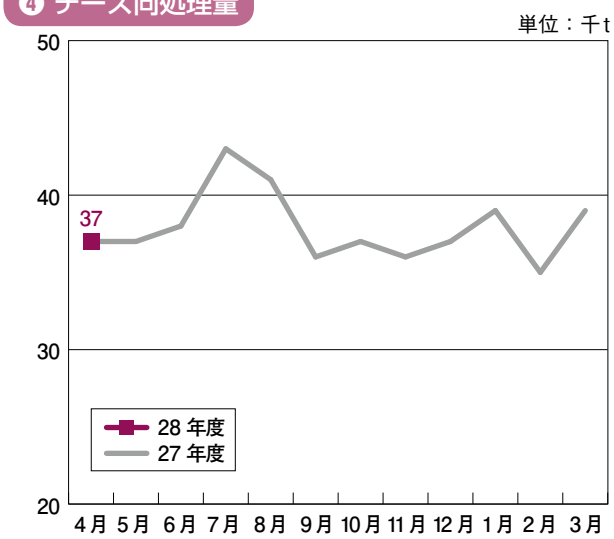
❷ 特定乳製品向処理量



❸ クリーム向処理量



❹ チーズ向処理量



dessert デザート

新生酪農 アイスクリームセット
税込4,536円(本体4,200円)

バニラ90ml×3／チョコ90ml×3／いちご90ml×3／緑茶90ml×3
〈アレルゲン物質〉乳
お取扱期間　6/20~8/31

冷凍 短

八ヶ岳野辺山高原 ジャージーシュー・ワッフルセット10個入り
税込4,000円(本体3,704円)

ジャージーシュー3個／いちごシュー3個／ジャージーワッフル2個／いちごワッフル2個
〈アレルゲン物質〉乳／卵／小麦／大豆／ゼラチン／りんご
お取扱期間　6/20~8/31

冷凍 全 短

飛騨アイスギフト VI-PK
税込4,500円(本体4,167円)

バニラ120ml×2個／ストロベリー120ml×2個／抹茶120ml×2個／チョコレート120ml×2個／かぼちゃ120ml×2個／紅茶120ml×2個
〈アレルゲン物質〉乳／卵
お取扱期間　6/20~8/31

冷凍 短

ロールケーキと大福の詰め合わせ
税込3,348円(本体3,100円)

ロールケーキ264g×1／生クリーム大福100g×2／抹茶クリーム大福100g×2／きなこクリーム大福100g×2
〈アレルゲン物質〉卵／乳／小麦／大豆
お取扱期間　6/20~8/31

冷凍 短

奥中山アイスSセット
税込4,212円(本体3,900円)

バニラ130ml×2個／ブドウ130ml×2個／洋なし130ml×2個／イチゴ130ml×2個
〈アレルゲン物質〉乳／卵

奥中山アイスIセット
税込5,508円(本体5,100円)

バニラ130ml×2個／ブドウ130ml×2個／洋なし130ml×2個／イチゴ130ml×2個／コーヒー130ml×2個／抹茶130ml×2個
〈アレルゲン物質〉乳／卵
お取扱期間　6/20~8/31

冷凍 短

全 普

長崎カステラセット 2本入り
税込3,024円(本体2,800円)

牛乳風味370g×1本／チーズ風味370g×1本
※10等分カットタイプ
〈アレルゲン物質〉小麦／乳／卵

長崎カステラセット 3本入り
税込4,104円(本体3,800円)

牛乳風味370g×1本／チーズ風味370g×1本／蜂蜜風味370g×1本
※10等分カットタイプ
〈アレルゲン物質〉小麦／乳／卵
お取扱期間　6/20~8/31

meat 加工肉

DLG-420G（2014年金賞セット）
税込4,320円(本体4,000円)

ペッパーシンケン72g×1個／ハーブシンケン80g×1個／熟成乾塩ベーコン80g×1個／フライシュケーゼ80g×1個／辛口ポチキウィンナー150g×1個／ほそびきウィンナー150g×1個
〈アレルゲン物質〉豚肉／大豆
お取扱期間　6/20~8/10

冷蔵 簡易 普

R-051
税込5,400円(本体5,000円)

ローストビーフ(国産牛)200g×2個
〈アレルゲン物質〉牛肉／乳成分／小麦／大豆／鶏肉／りんご
お取扱期間　6/20~8/10

冷蔵 簡易 普

GT-400
税込4,320円(本体4,000円)

熟成糸巻ロースハム360g／ばら焼豚200g
〈アレルゲン物質〉小麦／大豆／豚肉
お取扱期間　6/20~8/10

冷蔵 簡易 普

SP-310
税込3,240円(本体3,000円)

ももハム310g／ベーコン280g
〈アレルゲン物質〉豚肉
お取扱期間　6/20~8/10

冷蔵 簡易 普

OC-40
税込3,908円(本体3,619円)

北海道フランク220g×1個／北海道認証ベーコン80g×1個／あらびきウィンナー110g×1個／ハーブウィンナー135g×1個／行者にんにくウィンナー120g×1個／あらびきフランク200g×1個
〈アレルゲン物質〉乳／豚肉
お取扱期間　6/20~8/31

冷蔵 簡易 短

OC-50
税込5,184円(本体4,800円)

ペッパーポーク320g×1個／北海道認証ベーコン300g×1個／あらびきウィンナー110g×1個／ガーリックウィンナー110g×1個／バジリコフランク240g×1個／あらびきフランク200g×1個
〈アレルゲン物質〉豚肉
お取扱期間　6/20~8/31

冷蔵 簡易 短

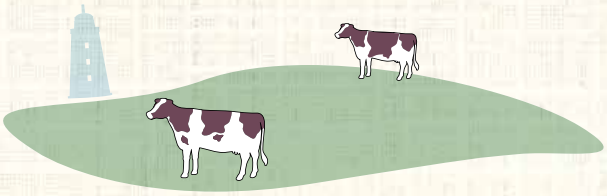
SP-510
税込5,400円(本体5,000円)

熟成糸巻ロースハム320g／焼豚310g／ベーコン280g
〈アレルゲン物質〉小麦／大豆／豚肉
お取扱期間　6/20~8/10

冷蔵 簡易 普

●詰合せ内容・商品デザイン及び配列についてはお断りなく一部変更する場合があります。●商品は十分にご用意しておりますが、在庫がなくなり次第終了とさせていただきますのでご了承ください。
●掲載商品の価格には、配送料が含まれております。●掲載写真はイメージです。

ZENRAKU
Summer Gift 2016



毎年恒例の「全酪連ギフトセット」の取り扱い時期となりました。
お世話になった方や大切な方への夏の贈り物に、
是非、本会ギフトセットをご利用頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。
なお、環境にやさしい簡易包装を採用している商品がございますので、
ご理解とご協力のほど併せてよろしくお願い申し上げます。
お申込みにつきましては、お近くの支所までお問い合わせください。

Heart Farm シリーズ

国産のゴーダチーズと海外産の原料チーズをブレンドしており、お子様からご年配の方まで美味しくいただけるように仕上げた商品のラインナップとなっております。

cheese チーズ

Heart Farmセレクション A（全酪乳製品セット）

税込3,500円（本体3,241円）

HFチーズ225g×1個／HF6Pチーズ108g×1個／HFとろけるスライスチーズ126g×1個／HFスライスチーズ126g×2個／HFスモークチーズ120g×1個
〈アレルゲン物質〉乳
お取扱期間　6/20~8/31

冷蔵 簡易 短

Heart Farmセレクション B（全酪乳製品セット）

税込5,000円（本体4,630円）

HF6Pチーズ108g×2個／HFとろけるスライスチーズ126g×1個／HFスライスチーズ126g×1個／HFスモークチーズ120g×1個／ぬるチーズ150g×1個／HFチーズ225g×2個
〈アレルゲン物質〉乳
お取扱期間　6/20~8/31

冷蔵 簡易 短

東毛酪農 カマンベール3個セット

税込2,830円（本体2,620円）

カマンベールチーズ100g×3個
〈アレルゲン物質〉乳
お取扱期間　6/20~8/31

冷蔵 簡易 短

noodle 麺

島原手延素麺細造り 26束（木箱入）

税込3,812円（本体3,530円）

細造り素麺1束50g（乾麺）×26束
〈アレルゲン物質〉小麦
お取扱期間　6/20~8/31

全 普

全酪めんセット

税込4,104円（本体3,800円）

全酪冷し中華10食／九州冷し担々麺6食
〈アレルゲン物質〉小麦／大豆／りんご
お取扱期間　6/20~8/31

全 短

全国酪農業協同組合連合会

●本所 酪農部　〒108-0014　港区芝4-17-5 相鉄田町ビル7F　TEL 03-5931-8008 FAX 03-5931-8025
●札 幌 支 所　〒060-0003　札幌市中央区北3条西7-1 酪農センター　TEL 011-241-0765 FAX 011-241-0769
●仙 台 支 所　〒980-0021　仙台市青葉区中央1-7-20 東邦ビル3F　TEL 022-221-5381 FAX 022-221-5384
●名古屋支所　〒460-0008　名古屋市中区栄1-16-6 名古屋三蔵ビル3F　TEL 052-209-5611 FAX 052-209-5614
●大 阪 支 所　〒532-0011　大阪市淀川区西中島5-14-10 新大阪ヨタビル 6F　TEL 06-6305-4196 FAX 06-6305-4899
●福 岡 支 所　〒812-0016　福岡市博多区博多駅南1-2-15 事務機ビル7F　TEL 092-432-2121 FAX 092-431-6313

取扱上のご注意

商品は十分にご用意しておりますが、在庫がなくなり次第終了とさせていただきますのでご了承ください。
冷凍 冷蔵 マークの付いている商品はそれぞれ冷凍、冷蔵でのお届けになります。

簡易 全 マークの付いている商品はそれぞれ簡易包装、全包装となります。
また、表示のない商品には包装はありません。（簡易包装とは、包装紙を帯状に商品に巻きつけた包装形態のことです。）
普 短 マークの付いている商品はそれぞれ普通サイズ、短冊サイズの熨斗となります。

栄えある
春の 叙勲 褒章

政府は４月29日、春の叙勲・褒章受章者を発表しました。
本会砂金会長をはじめ、３名の方々が受章の名誉に輝きました。心からお祝い申し上げますとともに、益々のご健勝をお祈りいたします。

●旭日中綬章●

砂金　甚太郎 氏

現 全国酪農業協同組合連合会 代表理事会長
現 みやぎの酪農農業協同組合 代表理事会長
現 一般社団法人 酪農ヘルパー全国協会 会長
現 一般社団法人 全国畜産配合飼料価格安定基金 理事長
現 一般社団法人 中央酪農会議 副会長
現 一般社団法人 全国酪農協会 副会長
現 一般社団法人 Ｊミルク 副会長
現 全国農業協同組合中央会 理事
現 公益社団法人 中央畜産会 常務理事
元 東北生乳販売農業協同組合連合会 代表理事会長

●旭日双光章●

奥澤　捷貴 氏

現 千葉県みるく農業協同組合 副組合長理事
元 千葉県酪農農業協同組合連合会 代表理事会長
元 一般社団法人 中央酪農会議 理事
元 一般社団法人 全国酪農協会 理事
元 関東生乳販売農業協同組合連合会 代表理事会長
元 全国酪農業協同組合連合会 理事

●旭日双光章●

但野　忠義 氏

元 福島県酪農業協同組合 代表理事組合長
元 一般社団法人 中央酪農会議 理事
元 一般社団法人 全国酪農協会 理事
元 一般社団法人 福島県酪農ヘルパー協会 会長
元 東北生乳販売農業協同組合連合会 代表理事会長
元 全国酪農業協同組合連合会 理事

北海道 乳牛産地情報

平成28年6月1日現在

札幌支所 TEL 011-241-0765
釧路事務所 TEL 0154-52-1232
帯広事務所 TEL 0155-37-6051
道北事務所 TEL 01654-2-2368

価格状況 ⬆……強含み ↗……やや強含み ➡……横這い ↘……やや弱含み ⬇……弱含み

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	45～55	➡	札幌管内の5月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計98.5%、累計で98.6%、苫小牧管内月計で98.0%、累計で98.6%の実績となっている。6月の初妊牛動向は、夏分娩腹中心となり、先月までの初妊牛価格高騰の雰囲気も落ち着きを取り戻してくるものと思われる。市場への出品頭数も比較的少ない地域ではありますが、道内他地域の相場の影響を受けやすいため、秋腹中心となり道内の相場が上昇した際には再び購買客の流入が見込まれるので注視が必要です。
	初妊牛	58～65	⬇	
	経産牛	50～55	➡	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	45～55	➡	根釧管内の5月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で104.8%、累計で105.1%、中標津管内月計で102.3%、累計で102.9%の実績となっている。5月の管内乳牛市場は、7月産みが中心となった事で前月と比べ約6万円の下げとなった。6月の初妊牛動向は、8月腹が中心となり、都府県の導入意欲も弱い事から引き続き弱含みで推移する事が予想される。しかし、酪農家の規模拡大等により販売に供される初妊牛頭数は減少しており、地元での引き合いも強いことから秋産みの初妊牛が動き出す時期には再び相場上昇に転する可能性があると思われる。暑熱対策等に苦労される事とは思いますが、価格を優先される場合はこの時期での導入をお勧めいたします。
	初妊牛	60～65	⬇	
	経産牛	50～55	➡	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	45～55	➡	帯広管内の5月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で104.0%、累計で104.2%の実績となっている。6月の初妊牛動向は、7月～8月の分娩腹が中心となり、夏分娩となるため都府県の需要が弱まることから相場は少し落ち着いてくるものと思われる。しかし、道内の大型農場の導入は引き続き継続されるため、底値は固く推移するものと思われる。6月よりホクレン家畜市場の開催が月1回となるため、8月手前の腹の荷動きは早いと思われますので余裕を持った注文をお願いいたします。
	初妊牛	62～68	⬇	
	経産牛	52～58	➡	
道北管内	育成牛(10-12月令)	45～55	➡	道北管内の5月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で101.6%、累計で102.0%、北見管内月計で100.1%、累計で100.5%の実績となっている。6月の初妊牛動向は、8～9月分娩中心となる。例年、都府県の夏分娩牛の需要が弱くなることから価格は下げの展開になると思われますが、道内大型牧場の需要も引続き継続している為、極端な下落は無く平均価格は弱含みで推移すると思われる。今後は10月分娩からの需要が見込まれるので注視が必要です。
	初妊牛	60～66	⬇	
	経産牛	45～50	⬇	
道内総括	育成牛(10-12月令)	45～55	➡	道内の5月中旬までの生乳生産量前年比は、102.2%、累計で102.5%の実績となっている。6月の初妊牛動向は、8月分娩腹中心で取引され、夏場分娩となる事から都府県は導入を避けるため、初妊牛相場も弱含みで推移するものと思われる。しかし、道内の生乳生産意欲および初妊牛導入が堅調であること、道内外の大型農家の導入が継続して行われていること(新規導入、更新等)、また出回り頭数の減少などの理由から大きな価格の下落は無いものと思われる。秋以降、道内の新規就農等で新規導入の話も聞こえてきております。秋口の導入予定がありましたら早めの注文をお願いいたします。
	初妊牛	62～68	⬇	
	経産牛	52～58	↘	

※上記相場は、血統登録牛(中クラス)の庭先選畜購買による予想相場です。庭先選畜購買のため、市場購買とは異なり、価格差が生じます。

今月の表紙

牛乳飲んで元気モリモリ

今月の表紙は、「第6回酪農いきいきフォトコンテスト」(第44回全国発表大会にて開催)で応募いただいた作品(山口県　藤井 直良氏　撮影)「牛乳飲んで元気モリモリ」です。牛乳はまさに元気の源！栄養の宝庫です。この写真を見てパワーもらった方は、ぜひあなたも一杯どうぞ!!

編集後記

▼今年も全国各地で「父の日に牛乳を贈ろう！」キャンペーンを開催中です。今年の6月19日父の日には、牛乳を添えてお父さんを含め大切な人に「ありがとう」の気持ちを伝えたいですね。

shidoukikaku@zenrakuren.or.jp

平成28年6月10日発行(毎月1回10日発行)
ZENRAKUREN
MEMBER'S INFORMATION
全酪連会報　6月号　No.609

●編集・発行人　大森 一幸
●発行　全国酪農業協同組合連合会
〒108-0014　東京都港区芝四丁目17番5号
TEL 03-5931-8003
http://www.zenrakuren.or.jp/

うしをみたよ

相馬市立山上幼稚園（東北）5歳　戸田 煌真

今月の らくのうこどもギャラリー 入賞作品紹介

今月の入賞作品は、相馬市立山上幼稚園（東北）5歳の戸田 煌真さんの作品です。牛さんと人や建物や雲や太陽がバランスよく配置されていると思います。一息に力強く引かれたしっぽのラインは存在感がありとても良いです。牛さんの体の白色はいろいろなパターンで描かれています。牛さんの柔らかみが伝わってきます。

※この作品は本会と全国酪農青年女性会議共催の「第42回らくのうこどもギャラリー」で全国588点の応募作品から入賞12点に選ばれたものです。

主催　全国酪農青年女性会議